

ひよこだより

和歌山ろう学校 幼児教室（ひよこ組） 令和7年7月号 No.4

近畿地方は平年よりも早く6月27日に梅雨が明けました。お天気のよい日が続く、熱中症アラートは厳重警戒の日が続いています。7月上旬には幼児教室の集団活動も中庭にテントを張って行いました。テント下の風通りがよく心地よい状態で2日間とも水遊びを楽しむことが出来ました。0歳児さんは、ママに身体を支えてもらい安心してシャワーの水に手を伸ばしたり、お腹やお尻が水に濡れるとママの方を見て気持ちを伝えたりしました。1・2歳児さんは、水鉄砲や水風船でママや先生と水のかけ合いを楽しんだり魚すくいをしたりと、水の動きや冷たさ、気持ちよさを共有しながら遊びました。



保護者学習会

7/14に「乳幼児期のこどもへの関わりについて」をテーマに保護者学習会を行いました。ことばを育むために意識すべきことや、今の時間を大切にすることで積み重なる幸せについて、本校校長よりお話をさせていただきました。大人の言葉がけ～7つの技法～を活用しながら、今後もこどもとより良いコミュニケーションを取ることで、ことばが豊かで自信に満ちた子に育ってほしいです。

【7つの技法】

- ① 「ミラーリング」 ② 「モニタリング」 ③ 「パラレル・トーク」
- ④ 「セルフ・トーク」 ⑤ 「リフレクティング」 ⑥ 「エクспанション」
- ⑦ 「モデリング」です。学習会に参加できなかった方や内容にご興味のある方は、詳しい内容を幼児教室に提示していますので、是非ご覧ください。



乳幼児期の土台作りが重要

児童精神科医として40年以上にわたり多くの保護者さんの子育てを見守ってきた佐々木正美氏の著書『子どもへのまなざし』には乳幼児期の土台作りの重要性が書かれています。大切な乳幼児期だからこそ、今のお子さんの行動を観察し、笑顔やまなざしを向けながら、親子の信頼関係を築いてほしいと思います。「過保護」という言葉もありますが、現代社会においては、こどものために「やり過ぎているのでは」と感じていても実際には過保護になりすぎることはないと言われています。こどもの心や意思が反映されていない関わりは「過干渉」になってしまうため、こどもが「やりたい」と思うことにとことん付き合い、サポートをしてあげてほしいと思います。

夏休み中の対応について

- ・和歌山ろう学校は7月19日～8月27日の期間は夏休みとなります。それに伴い、ひよこ組の活動もお休みとなっています。
- ・何かありましたら、お盆休み期間(8月9日～8月17日)を除き、電話及びメールがつながりますので、いつでも学校にご連絡ください。メールは返信にはお時間をいただく場合があります。
- (Tel: 073-424-3276) (Mail: warou.shien@wakayama-c.ed.jp)
- ・通院の様子や補聴器店での対応などにつきましては、次回の個別活動の時間に担当へお伝えください。生活記録表への記入によるお知らせでも構いません。
- ・家庭訪問や園訪問を予定しているご家庭につきましては、お子さんの日々の様子をお伺いしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

9月・10月の集団活動・保護者学習会の予定

- 9月 9日(火) 小学部保護者学級「子育てについて」
以前幼稚部に通われていたお子さんのお母さんのお話です。
 - 17日(水) 保護者学習会「幼稚部保護者との座談会」
本校幼稚部に在籍しているお子さんをもつ保護者の皆さまと、ざっくばらんに話ができる時間を作りたいと思います。
 - 26日(金) 集団活動「秋のピクニック(公園)」
 - 10月 3日(金) 保護者学習会「こどもとの関わり方について」
 - 15日(水) 23日(木) 集団活動「リズム・運動あそび」
ご都合の良い方に参加いただければと思います。
- *都合により日程が変更になる場合がありますので、ご了承ください。